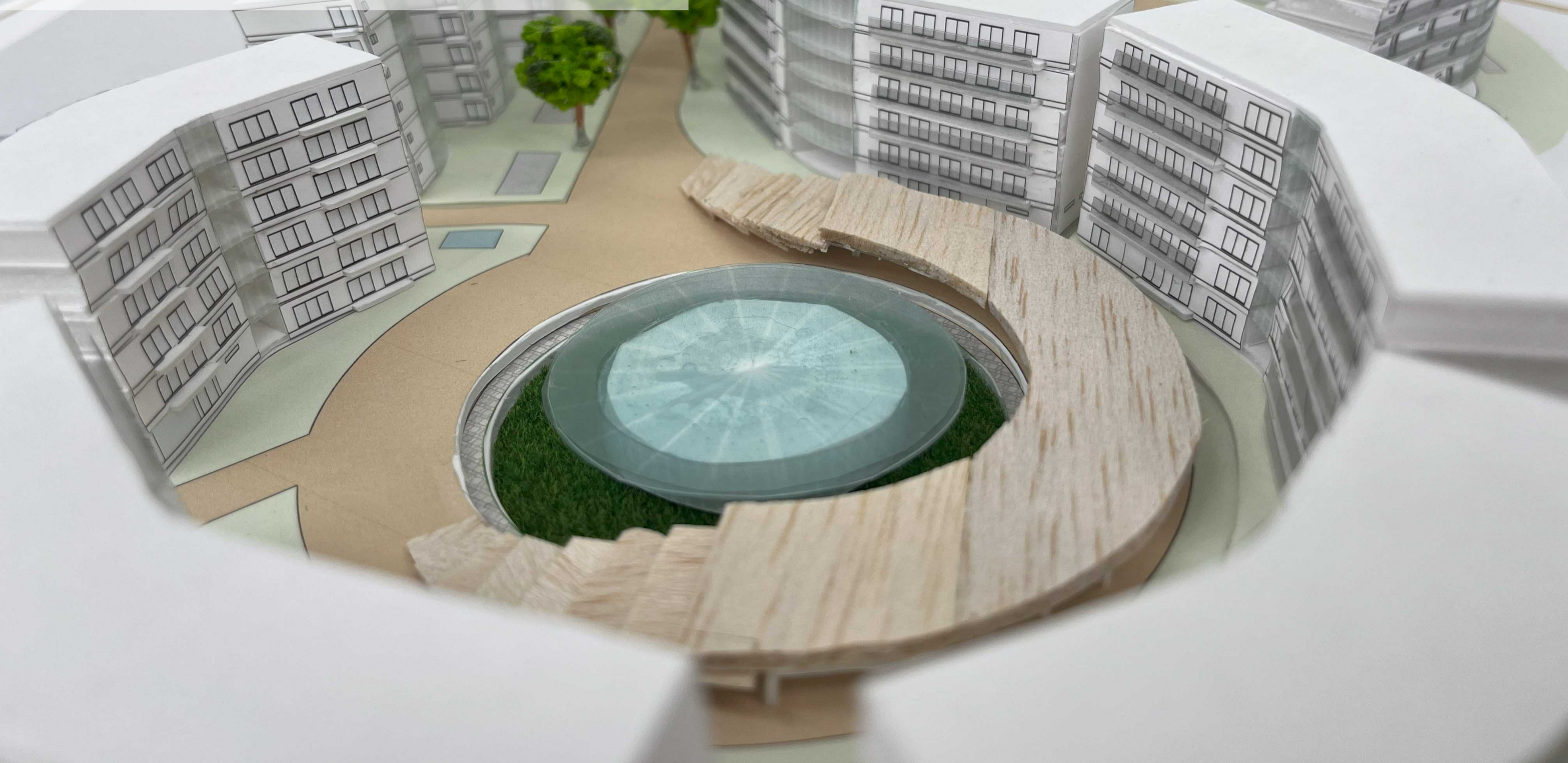


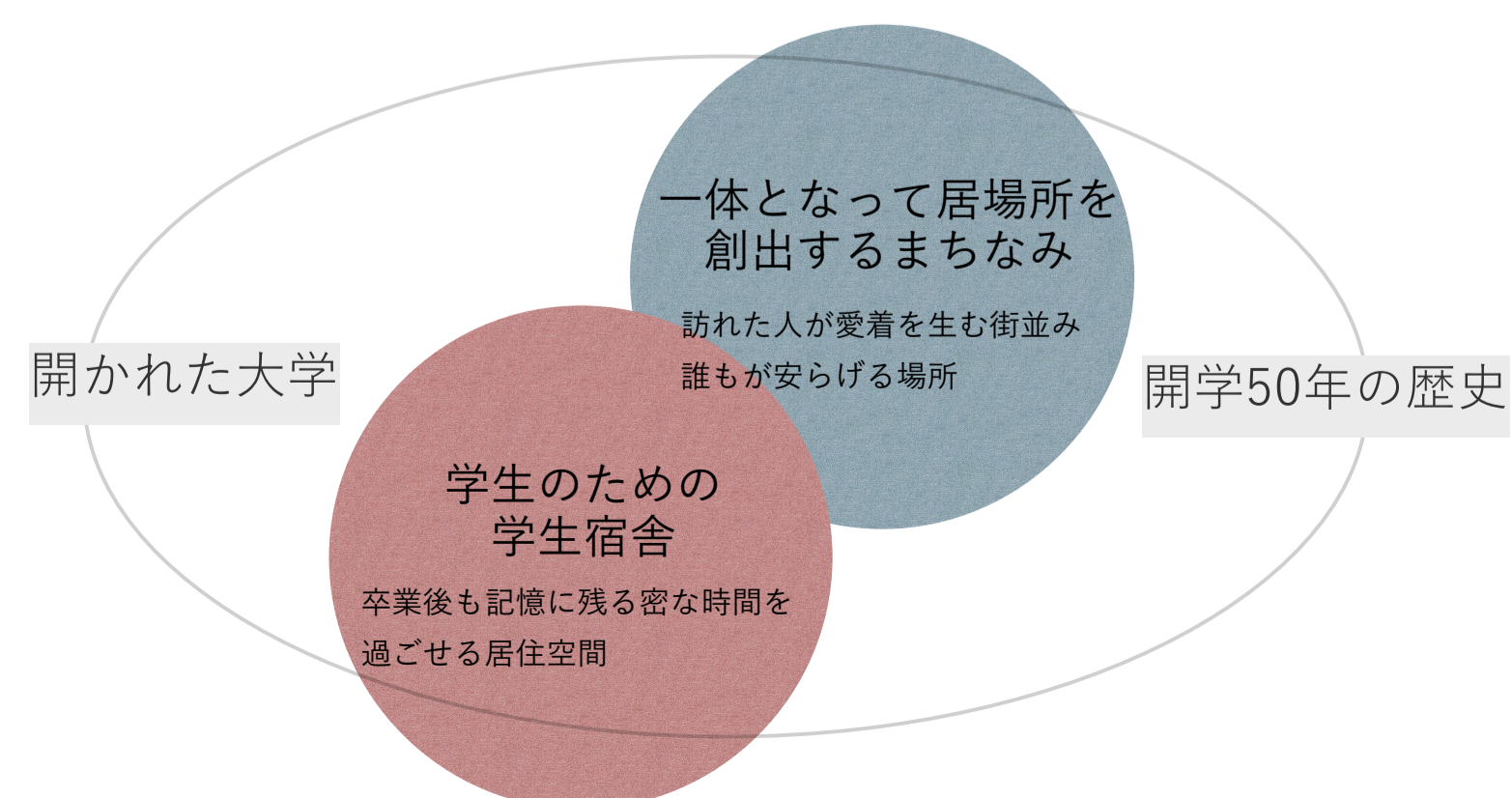
# 学生宿舎が織りなす やすらぎの街



## コンセプト

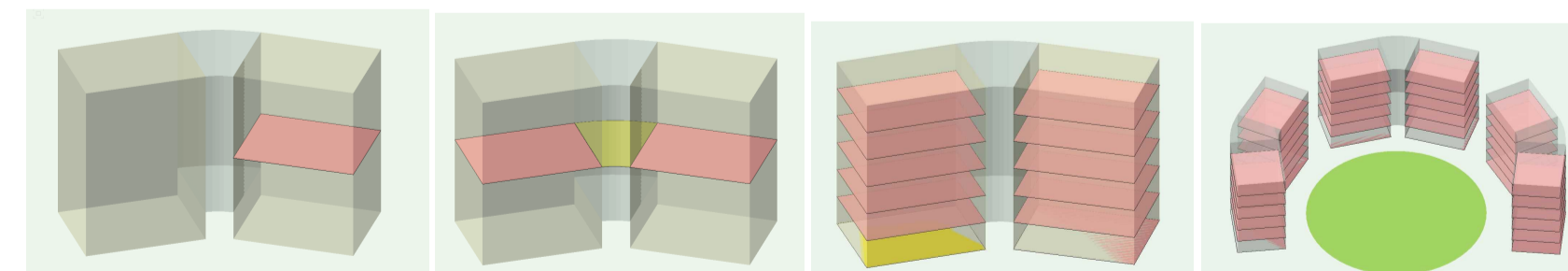
開学50周年を迎えた筑波大学は外へ開かれた大学であることが大きな特徴であり学生のみならず近隣住民にも身近な存在と言えるそんな筑波大学においてこの先の50年後、100年後も愛される学生宿舎の在り方を考え

「学生宿舎が織りなすやすらぎの街」を提案する



## 1. 学生のためのやすらぎ

学生宿舎は多くの新入生が初めての一人暮らしに不安を抱えながら訪れる場所であるため全ての学生が宿舎をやすらぎの場とできるようにいずれの住戸タイプも自然とコミュニケーションが生まれる造りをテーマに設計を行った透明性の高いガラスによる壁面を持ち合わせながらも学生の密なコミュニティの形成を促す点が特徴である中でも住戸数の7割を占めるシェアハウス型では4段階における交流が期待される



ユニット内交流    共用リビングにおけるフロア内交流    共用空間における棟全体での交流    広場の共有による交流

## 2. 訪れて感じるやすらぎ

ペDESTリアンが通るこのエリアでは在学生・地域住民の通行や隣接する保育園の子どもたちの散歩道にもなっている歩いてたのしい・少し止まってひとやすみできる、そんな街並みを演出している

## 建築概要

対象地 筑波大学平砂学生宿舎エリア3  
所在地 つくば市天久保2丁目筑波大学構内  
対象地区面積 約10ha

現在の平砂学生宿舎敷地図



変更点は次の3点である  
その他の敷地は従来の形を残し  
筑波大学の歴史を継承する

計画案敷地図



①テニスコートの移転  
②従来の広場を円形に拡張  
③第2の広場を設ける

ペDESTリアンが通る賑やかな街並みと閑静な住宅地の形成  
広場と宿舎の一体感を創出  
誰もが「自分の広場」をもつ

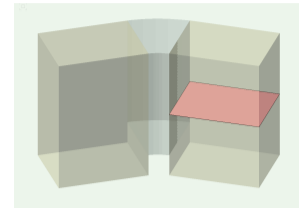


## 住棟基準階平面図(2階)

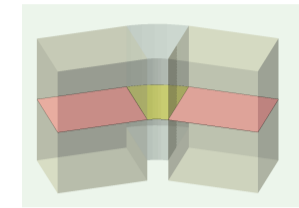
全ての学生が自分らしく過ごせる場所となるよう多様な居住タイプを用意

### シェアハウスタイプ

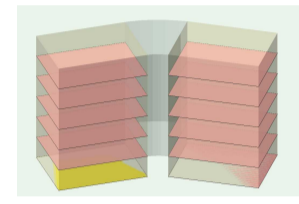
▷大人数あるいは少人数での密なコミュニティを望む学生へ



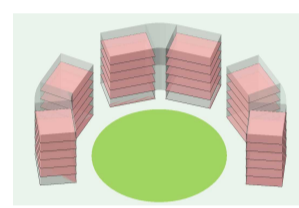
**シェアハウス**  
5人あるいは9人で生活を共にすることで密なコミュニティを形成



**フレキシブルな共用リビング**  
シェアハウスタイプではユニット内での密な交流に加えて大人数での交流も可能とする



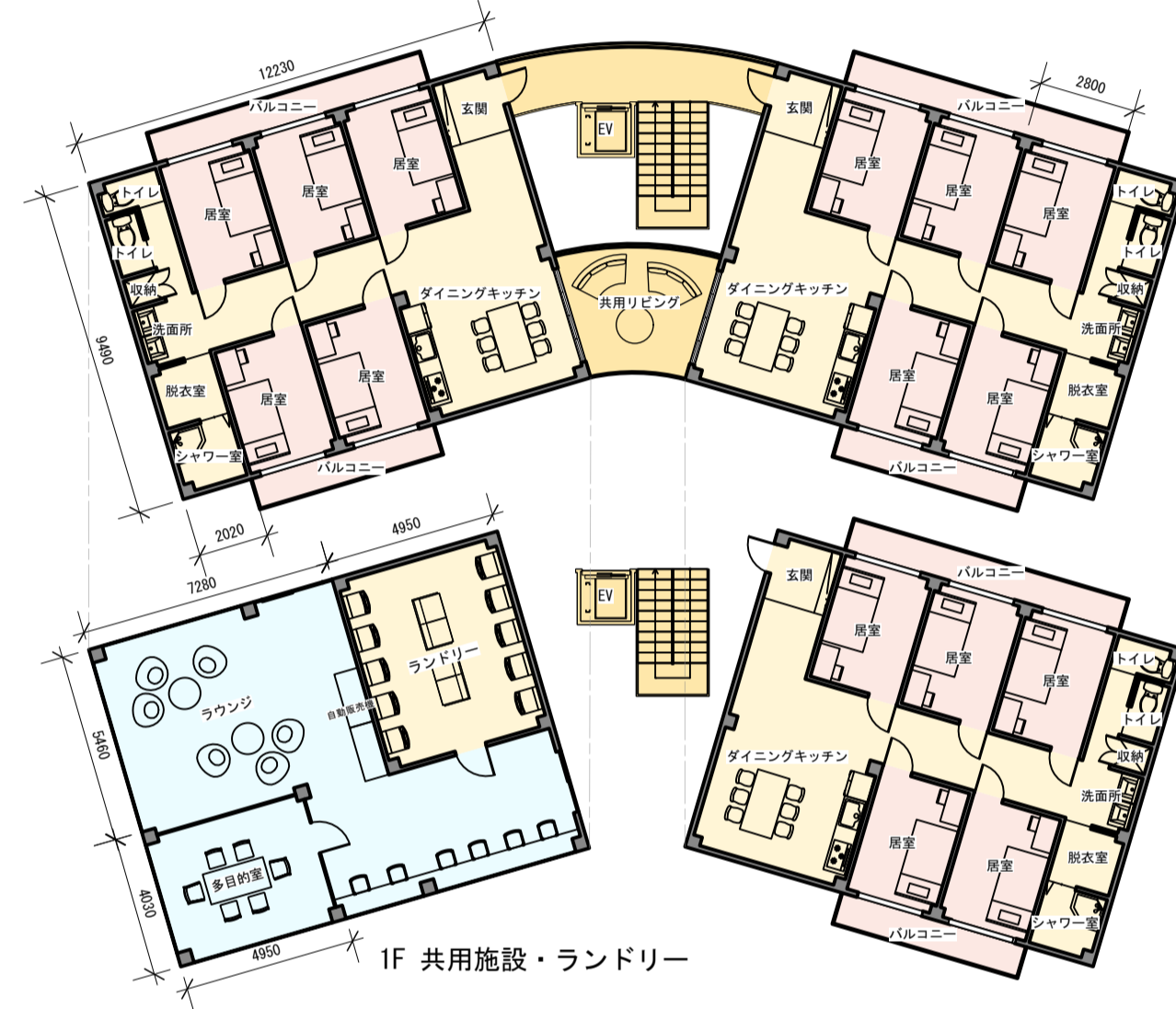
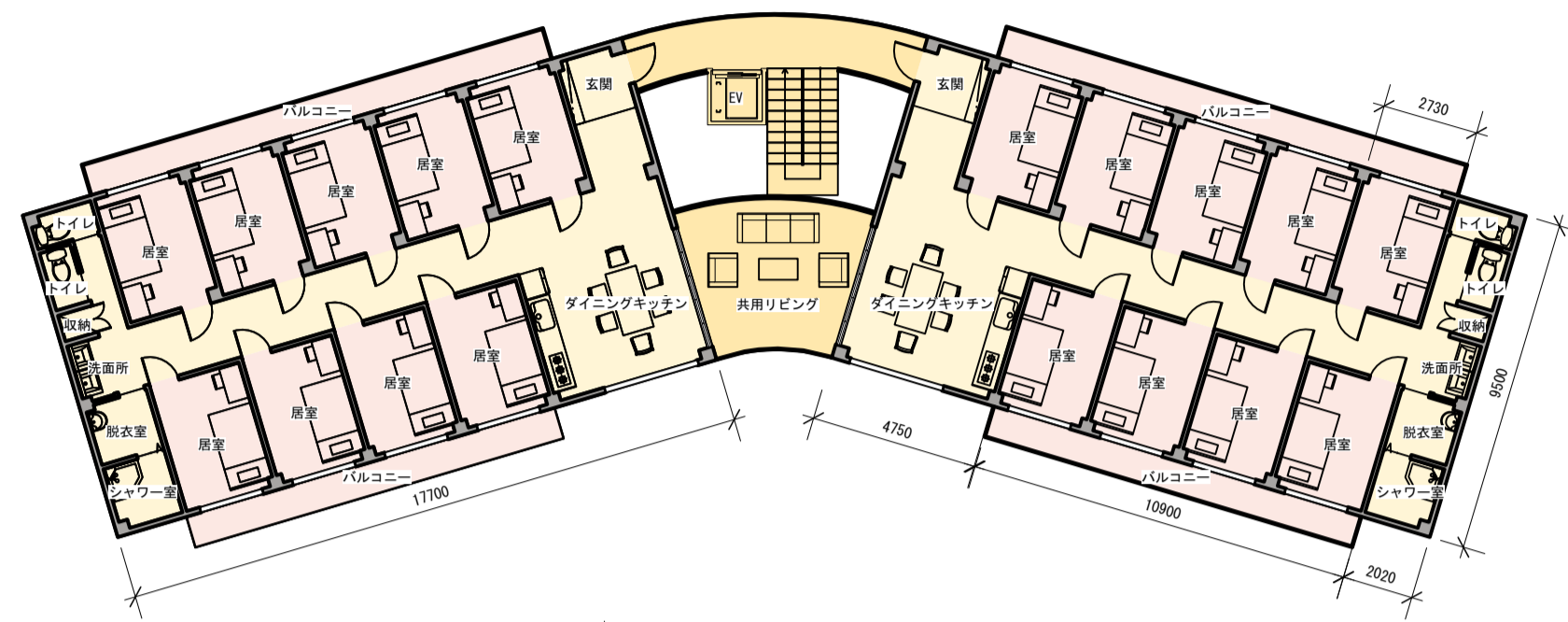
**一階部分の共用施設**  
一階部分にはランドリーを集約し自販機や自習可能なスペースを併設することで棟のメンバーと共に充実した待ち時間を過ごすことができる



**広場**  
全ての棟が広場に面するリビングを持ち合わせており「自分の広場」としての愛着が生まれる広場を通じて他の棟のメンバーとの交流も期待できる

**通り抜け空間**  
一階部分の扇形空間は通り抜けできる造りとなっており広場や池とのつながりをより一層感じさせる

### 9人ユニット型シェアハウス



### 5人ユニット型シェアハウス

### 完全個室タイプ

▷一人の時間を大切にしたい学生へ

プライベート空間と交流の両立  
水回りも完備の完全個室タイプでもフロアの人数を減らすことで互いが認知しコミュニティの形成を促す造りとなっている

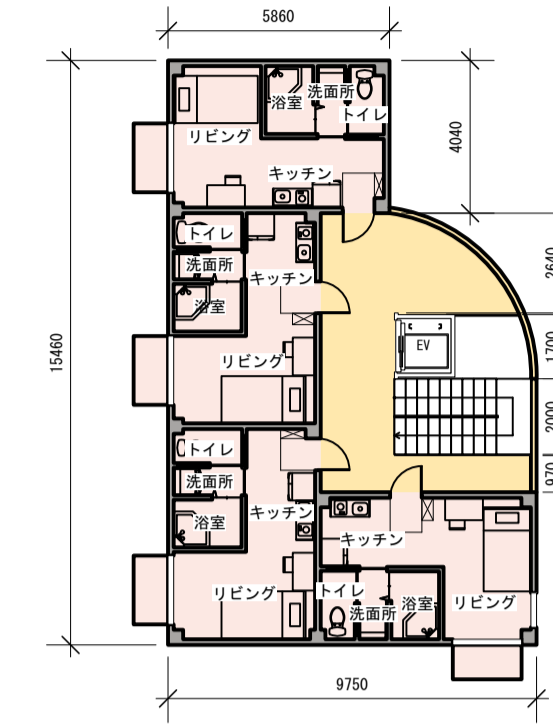
差し込むあたたかなやすらぎ  
4部屋が向かい合う形を保ちつつ各部屋に光が差し込むようになっているほか、共用廊下はガラス張りの明るい空間が保たれている

### 小規模世帯用

▷ファミリー向け居室

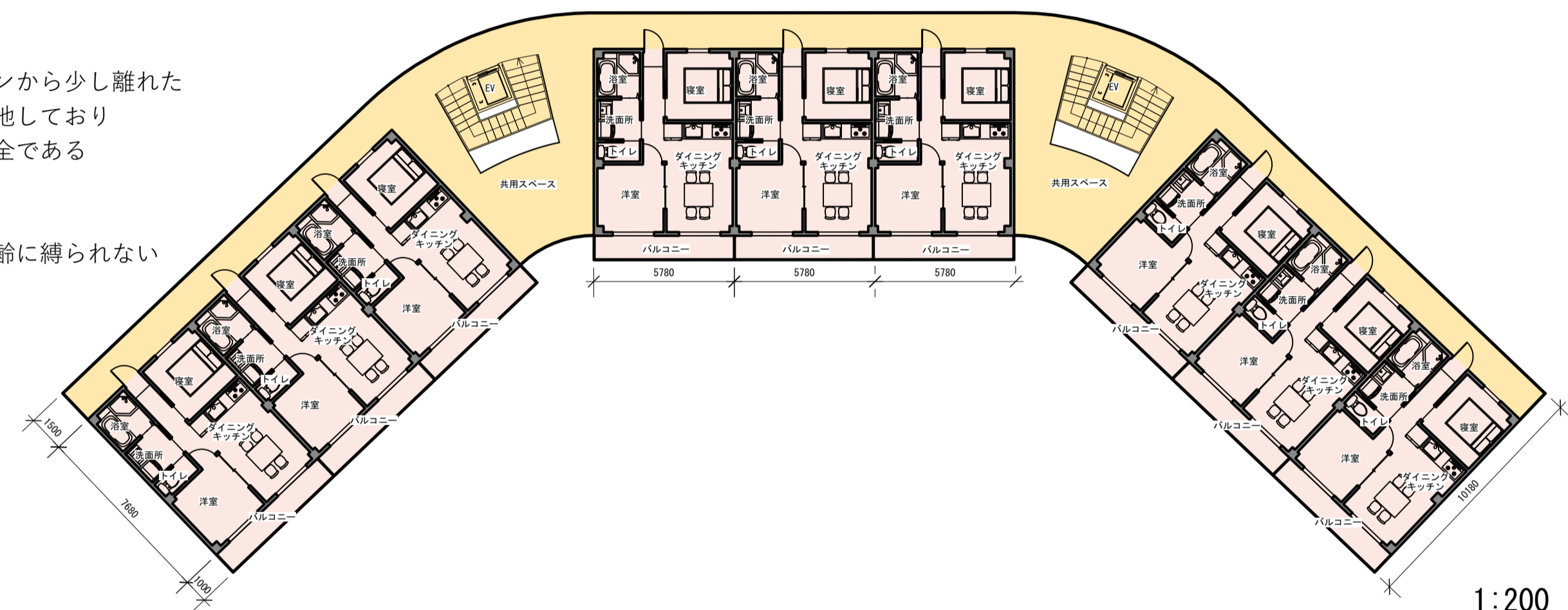
落ち着いた空間  
交通量の多いペDESTリアンから少し離れた落ち着いた空間に立地しており小さな子どもが遊ぶにも安全である

多様性  
共用スペースでは国籍・年齢に縛られない交流が期待できる



### 施設面積概算図

住戸タイプ	戸数	総面積(m <sup>2</sup> )
A 完全個室タイプ	120戸	約3750m <sup>2</sup>
B 9人ユニットシェアハウス型	310戸	約7740m <sup>2</sup>
C 5人ユニットシェアハウス型	220戸	約7200m <sup>2</sup>
D 小規模世帯用住戸	50戸	約4140m <sup>2</sup>
合計	700戸	約22,830m <sup>2</sup>



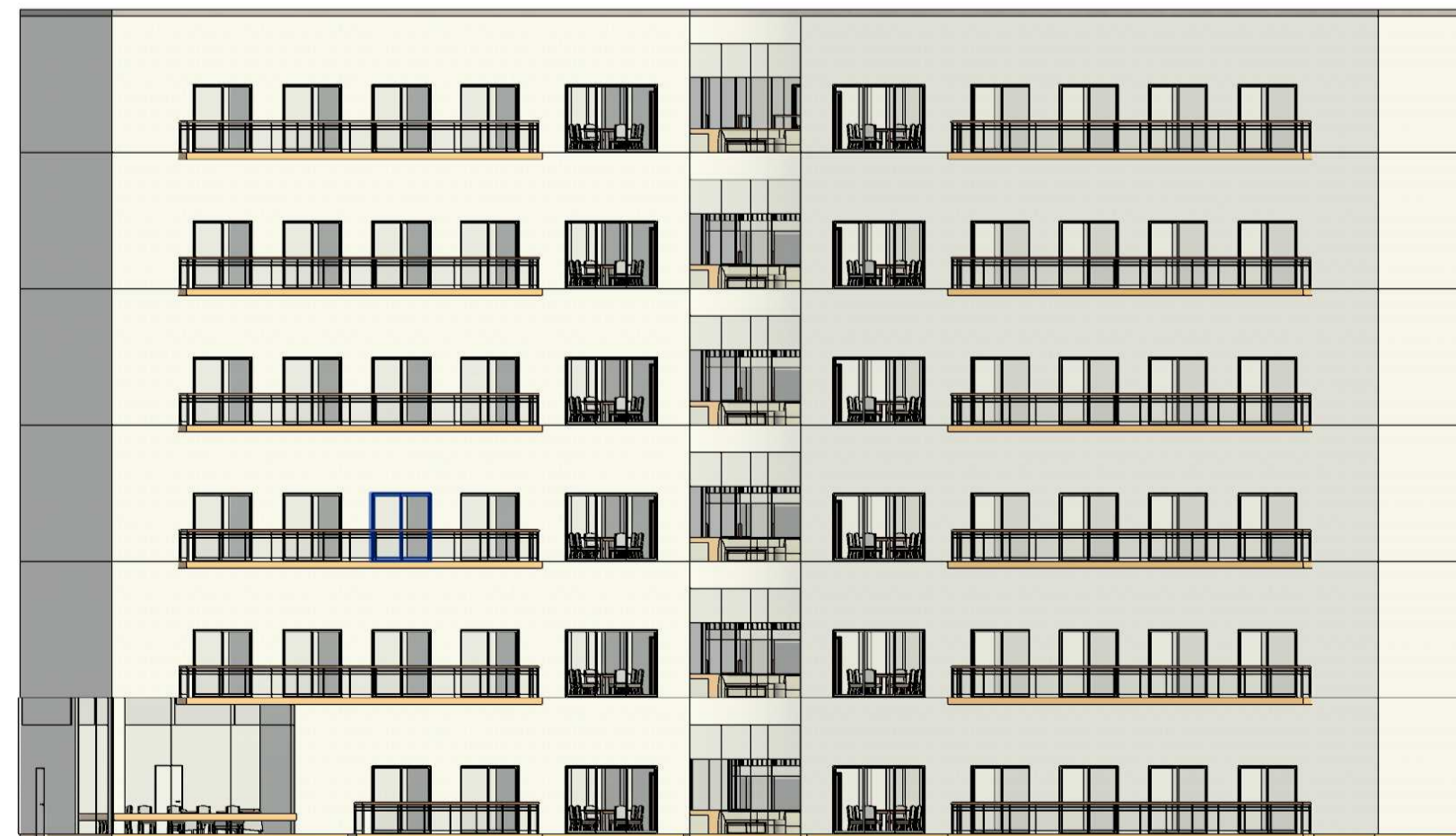
1:200

## 住棟立面図(広場側・ペDESTリアン側)

5人ユニット型シェアハウスタイプ



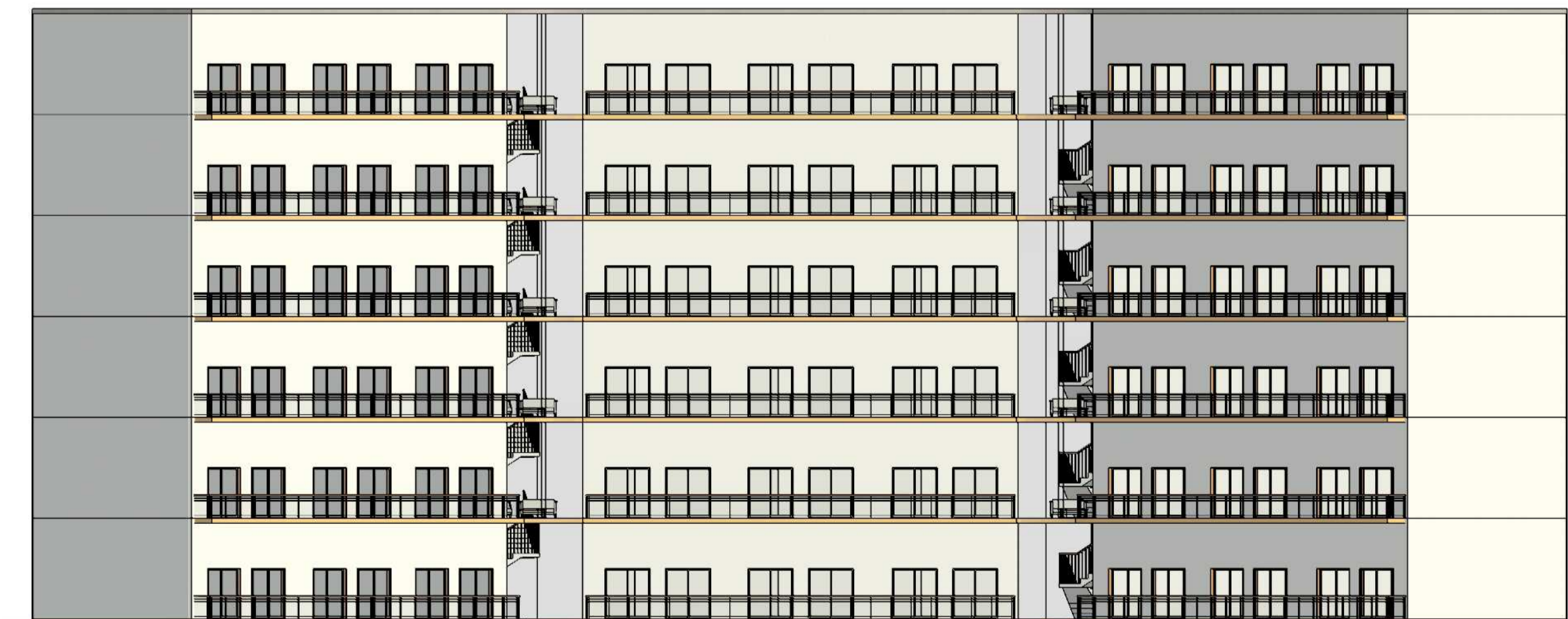
9人ユニット型シェアハウスタイプ



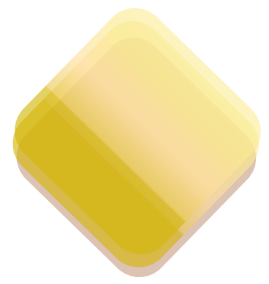
完全個室タイプ



小規模世帯用





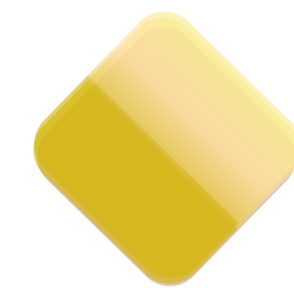


# 機能図



機能図1:800

- テニスコートを移転したことでペDESTリアンから一本入った通りは落ち着きのある街並みとなっている
- S字に並ぶシェアハウス型住居は最も住居者数が多く、景観に溶け込みやすい自転車置き場を設けるべくウッドデッキ下を置き場としても活用する  
ウッドデッキは誰でも利用でき、歩いたり腰掛けたり利用方法も様々である
- ペDESTリアンを通る第一の広場は共用施設を備えており誰でも利用できるカフェのほか、学生活動を日常的に発信できるイベントスペースを含む  
学生の作品展示やパフォーマンスの場になったりマルシェの開催などが挙げられる
- 二つの広場は誰でも利用できるオープンスペースとなっている



# 動線図

## 歩行者・自転車

ペDESTリアンでは自転車の通行が多くなるため1段下げた広場では歩行者のみの落ち着いた空間となっている  
階段をのぼったり宿舎の隙間を通り抜けたりと様々な道が存在している

## 自動車

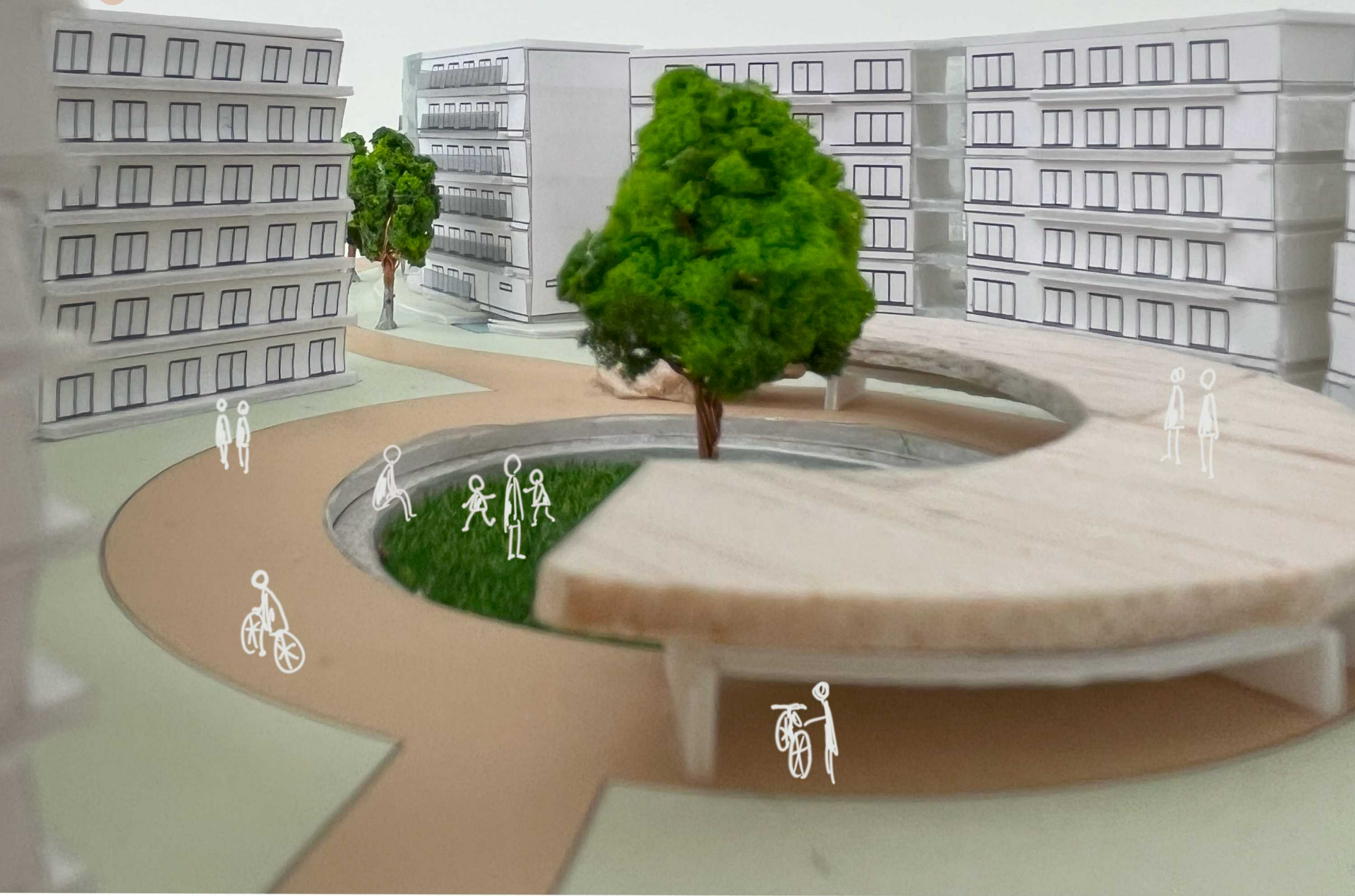
宿舎の集まる当エリア一体は車両通行を禁止とし安全を確保しているため  
エリア手前の駐車場に停めることとなる



動線図1:1000



## 屋外空間におけるやすらぎ



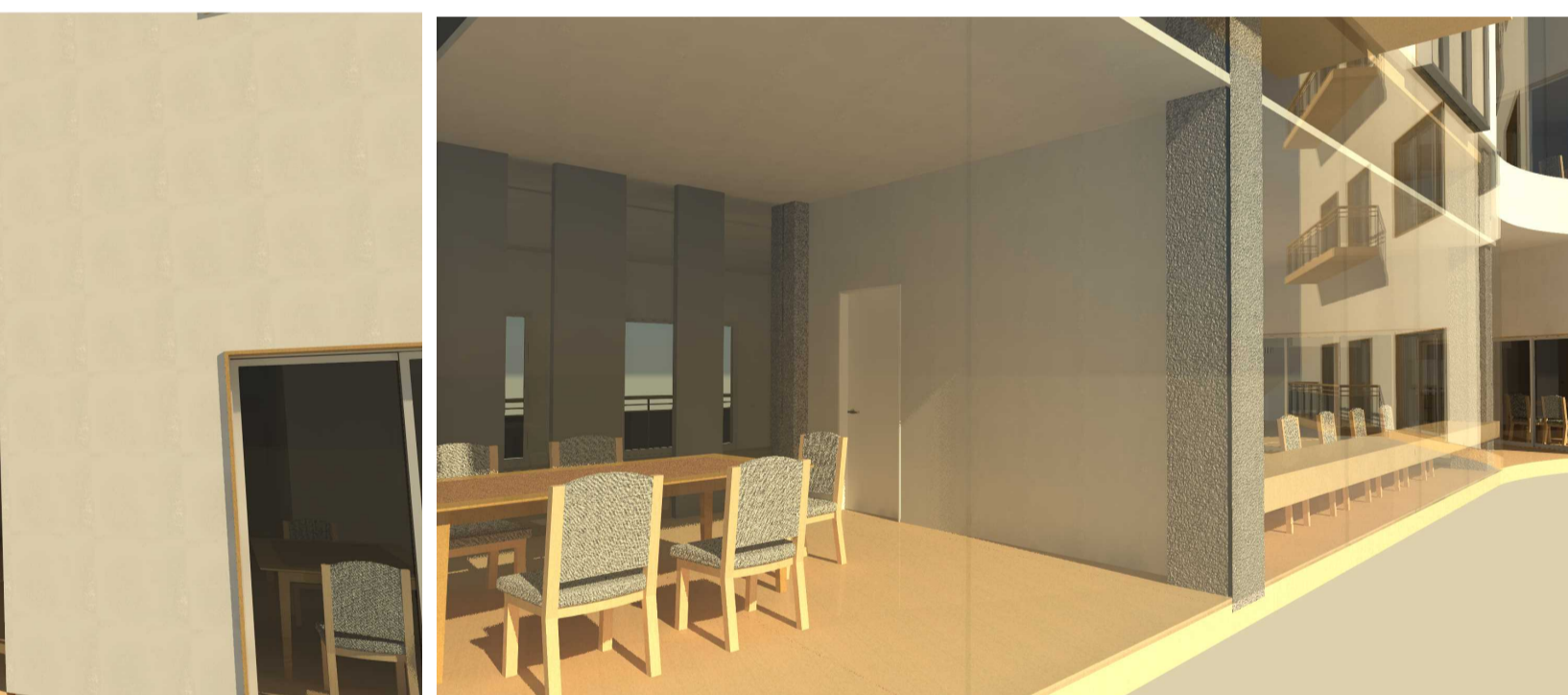
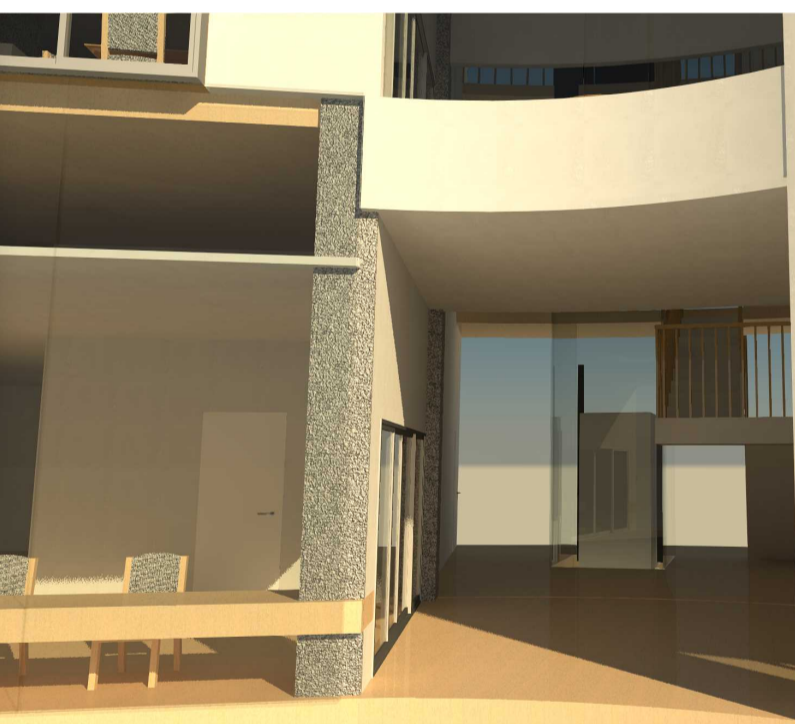
ペDESTリアンの緑の美しい並木道は  
既存樹木を残したものとなっている  
建物の隙間の先には広場が見えている



二つ目の広場には大きな樹木を囲うように  
ゆるやかな階段がのびている  
長くのびた軒先の下で涼めるのが特徴である  
また階段に腰かけると追越池を望むことができる



ガラス張りの円形建築物の中にはカフェが  
併設されている  
屋根の下のテラス席で食べたりテイクアウト  
して階段に腰かけて食べたりなど  
ゆるやかな階段を上ると少し違った景色が  
見られるのも楽しみの一つ



## 居住空間におけるやすらぎ



個室型タイプでは共用空間がガラス張りにな  
っており常に光の差し込むやすらげる  
空間である

シェアハウスタイプ一階における共用空間  
会議のできる多目的室、自習スペースなど  
空き時間を有効活用や棟のメンバーとの交流が可能



シェアハウスタイプにおけるリビングの様子  
共用リビングを挟んで隣のユニットとの  
交流を図ることができる  
広場に面したリビングには常に外からの光が  
差し込む造りとなっている